



ブライツ・アセット株式会社

英下院、EU 離脱代替案探る投票も否決

ブリグジットはさらに混迷

メイ首相は自身の欧州連合（EU）離脱協定案を可決すれば辞任する意向を表明し保守党内の協力を取り付けたが、民主統一党（DUP）の反対にあい、僅差で下院では過半数を取れませんでした。今後さらに、「示唆的投票」を繰り返し、DUP と妥協点を探していくことになります。支持が得られない場合は、4月12日に合意なきEU離脱か、もしくは延期ということになりそうです。

マーケティング・セールス部

2019/03/28

金融商品取引業者：ブライツ・アセット株式会社
登録番号：関東財務局長（金商）第3102号
加入協会：一般社団法人第二種金融商品取引業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
HP：www.brightasset.co.jp

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的としてブライツ・アセット株式会社が作成した資料です。投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。投資に関する決定は、お客様ご自身で判断なさるようお願いいたします。

ブリグジットはさらに混迷

英下院、EU 離脱代替案探る投票で 8 件とも反対多数

英下院は 27 日、欧州連合（EU）離脱に関し過半数の支持が得られる代替案を模索するための「示唆的投票（indicative vote）」を実施し、8つの案すべてで反対票が賛成票を上回った。

メイ英首相、EU 離脱協定案可決後に辞任へ 与党に表明

英国のメイ首相は 27 日、議会在 3 度目の採決で自身の欧州連合（EU）離脱協定案を可決すれば辞任する意向を表明した。与党・保守党の議員会合で、協定案が最終的に可決されれば退任し、将来の対 EU 関係を巡る交渉で新しい指導者が次の段階を進めるよう円滑な交代を約束する考えを示した。メイ氏は「党内議員らの空気を非常にはっきりとつかんだ」とし、「離脱交渉第 2 段階で新たなアプローチ、新たな指導者が求められていると認識しており、妨げるつもりはない」と言明した。

（ロイター 2019/3/27 より）

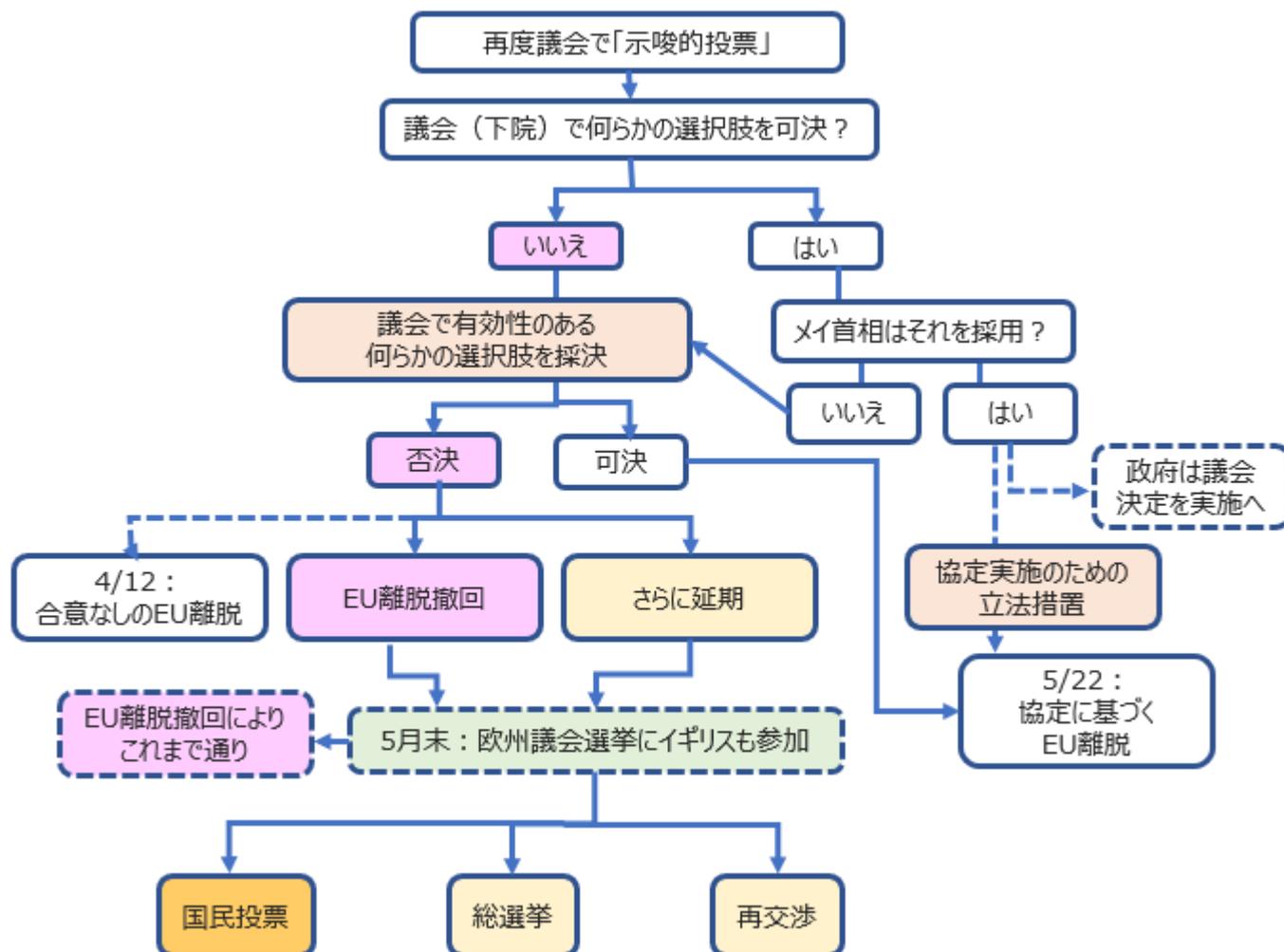
27 日に審議された議員提出のブレグジット 8 案 「示唆的投票（indicative vote）」

1. 関税同盟：EU 離脱後、イギリスはただちに EU との新しい関税同盟について交渉を始めるというもの
——賛成 264 反対 272
2. 確認のための（2 度目の）国民投票：議会通过した離脱協定に対し、批准の前に国民に是非を問う案
——賛成 268 反対 295
3. 4 月 12 日に合意なし離脱
——賛成 160 反対 400
4. 単一市場 2.0：欧州自由貿易協定（EFTA）に再加入し、欧州経済領域（EEA）にとどまることで、ブレグジット後も単一市場にとどまる案。北アイルランドについては、バックストップに代わる「包括的関税パートナーシップ」が交わされる。また、条件付きで人の自由な移動を認める
——賛成 188 反対 283
5. EFTA および EEA への加入：EFTA に再加入し、EEA の既存ルールには従うものの、施行にはイギリスの裁判所の承認を必要とする案。北アイルランドについては EU との関税同盟関係にはならず、代わりとなる合意を模索する
——賛成 65 反対 377
6. ブレグジット中止：EU 基本条約（リスボン条約）第 50 条を破棄し、EU から離脱しない選択肢。条件として、政府が協定への支持を取り付けられなかった場合、議会は離脱日の 2 日前に合意なしブレグジットについて採決する。この採決で合意なしブレグジットが否決された場合に限り、ブレグジットを中止するというもの
——賛成 184 反対 293
7. モルトハウス妥協案 A：メイ首相の離脱協定からバックストップを除外し、代わりの合意を加える案
——賛成 139 反対 422
8. 労働党案：単一市場との「緊密な連携」や労働者の権利保護などを含む
——賛成 237 反対 307

（BBC 2019/3/27 より）

ブリグジット（イギリスの EU 離脱）今後の流れ

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的としてブライト・アセット株式会社が作成した資料です。投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。投資に関する決定は、お客様ご自身で判断なさるようお願いいたします。



出所：BBC 報道などをもとにブライト・アセットが作成

ますます混迷してきています。首相辞任を条件にメイ首相案を下院に諮りましたが、保守党の協力は得られましたが、閣外協力している北アイルランドの民主統一党（DUP）の反対にあい、僅差で下院では過半数を取れませんでした。しばらくは、議会で「示唆的投票」を続けて、何らかの合意点を探ることになります。今回の示唆的投票で最も賛成に近付いた1案のEU離脱後、イギリスはただちにEUとの新しい関税同盟について交渉を始める（賛成264 反対272）というもので民主統一党（DUP）の賛成を取り付けられるよう水面下で交渉が続くと思います。（2番目に賛成票が多かったのは2案の再国民投票）

合意が得られない場合は、4月12日に合意なきEU離脱となります。しかし、これは多くの議員がこれは反対しています。その場合は、延期という選択肢もまだ残ります。与党保守党は、EU離脱の撤回は今のところあり得ないので、延期ということになりそうです。延期ということになれば、5月末の欧州議会選挙にイギリスが参加したうえで、総選挙もしくは2度目の国民投票実施ということになり、さらに混迷するでしょう。

年初来、英ポンドは上昇していますし、FT株価も堅調に推移しています。約300社の企業への調査では、約80%の企業が合意なき離脱、もしくは移行期間なしの離脱に対し「準備できている」と回答しています。この割合は1月時点の50%から上昇しています。市場は合意なきEU離脱でも問題ないと見ていますが、市場は本当にこうした混乱を織り込んでいるのでしょうか？